

平成28年1月29日
第4回一億総活躍国民会議
塩崎厚生労働大臣説明資料

- ◆「一億総活躍社会」の理念を具体化すべく、さらに取組を強化していく。
- ◆「ニッポン一億総活躍プラン」の策定に向けて、検討を加速化する。

【基本コンセプト】

- 誰もが**多様性**を重視され、**包摂**される社会
- **家庭**で、**地域**で、**職場**で、誰もが活躍できる社会
- 「**成長と分配の好循環**」を生み出す社会システム

対策の柱と主な検討項目

① 誰もがその能力を発揮できるような**働き方改革**

- 金融機関等と連携した生産性革命
- 長時間労働対策の強化、ワーク・ライフ・バランスの実現
- 同一労働同一賃金、非正規対策、最低賃金引上げ
- 若者・女性・高齢者・障害者・難病患者への雇用対策の充実 など

② 成長を支える**社会保障の機能強化・人材確保**

- 保育・介護人材の処遇改善、新規参入促進、再就職支援
- 養成課程見直しによる医療福祉人材のキャリアパスの複線化
- 魅力ある介護の職場づくり ● 介護・保育・障害福祉の基盤整備 など

③ 家庭や地域での活躍を支える**新たな時代の地域づくり**

- 包括的・総合的な相談支援体制の整備
- 高齢・障害・児童等の福祉サービスの一体的な提供の普及促進
- 地域の住民互助の育成支援など地域コミュニティの「支える力」の強化
- 民間資金の活用促進(SIB、寄付等) など (SIB=ソーシャル・インパクト・ボンド)

※ その他関連施策

- バイオ等ベンチャーの育成支援
- 予防、健康づくり、まちづくりの支援 ● データヘルス推進、フレイル対策推進
- 医療分野のICTの推進(医療情報の管理・共有・利活用等) など

厚生労働省での検討

- 「働き方の未来2035」懇談会 (28年1月～)
- 全産業の生産性革命に向けた労働・金融連絡会議(27年12月～)
- 正社員転換・待遇改善実現本部 (27年9月～)

- 介護のシゴト魅力向上懇談会 (28年1月～)

- 「新たな時代に対応した福祉の提供ビジョン」(27年9月策定)

- 医療のイノベーションを担うベンチャー企業の振興に関する懇談会 (27年12月～)
- 保健医療分野におけるICT活用推進懇談会(27年11月～)
- 「保健医療2035提言書」(27年6月策定)